

高校地理プリント（過去問類似）
地理総合（2025年～の共通テスト本試験）
No.5

名前

得点

/9

問1 南アメリカ大陸の西岸沖に位置し、海洋プレートであるナスカプレートが大陸プレートである南アメリカプレートの下に沈み込むことで形成されている、非常に深く細長い海底の凹地を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. アリューシャン海溝 2. トンガ海溝 3. マリアナ海溝 4. ペルー・チリ海溝

問2 日本の農産物輸出において、台湾や香港が主要な輸出先であり、近年はタイやベトナムなどの東南アジア諸国への輸出量も増加している果実がある。この果実は、北半球に位置する日本での収穫期（秋）を反映し、輸出先における日本産の輸入時期が11月から3月頃の冬期に集中するという季節的特徴を持つ。この果実の名称を答えよ。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ミカン 2. ブドウ 3. イチゴ 4. リンゴ

問3 日本の地方都市において、1980年代以降、自家用車の普及に伴って郊外への道路網整備が進み、人口集中地区の面積が拡大した一方で、地区内の人口密度が低下する現象が見られた。このような、自動車の普及が都市構造や人々の生活様式に大きな変化をもたらした現象を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ジェントリフィケーション 2. セグリゲーション 3. サバーバニゼーション 4. モータリゼーション

問4 1970年から2020年にかけての人口動態と農業生産の変化について述べた、以下の説明に該当する地域（大州）として最も適当なものを答えよ。「この地域では、同期間において人口密度が1平方キロメートルあたり約11人から約24人へと緩やかに増加した。また、農業技術の向上や耕地の拡大などに伴い、1人当たりの穀物生産量も約0.28トンから約0.58トンへと2倍以上に増加している。」（2026年 全国公立入試 類似）

1. オセアニア 2. 北アメリカ 3. ヨーロッパ 4. 南アメリカ

問5 ペルシャ湾岸の産油国では、豊富なオイルマネーを背景とした建設業やサービス業の急速な発展に伴い、労働力不足を補うために国外から多くの出稼ぎ労働者を受け入れている。特に、自国籍人口の割合が1割程度と極めて低く、人口の大部分を南アジアなどからの外国人労働者が占めることで知られる、ドバイやアブダビなどの首長国から構成される連邦国家はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. クウェート 2. サウジアラビア 3. カタール 4. アラブ首長国連邦

問6 アラビア半島の沿岸諸国では、年間降水量が極めて少なく、恒常的な河川も存在しない。この地域において、豊富な石油や天然ガスなどのエネルギー資源を背景に、大規模なプラントを建設して生活用水や工業用水を確保しているシステムや技術を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 海水淡水化 2. 地下水灌漑 3. 点滴灌漑法 4. 排水再利用

問7 日本の合成繊維産業は、高度経済成長期以降、原料の安定的かつ大量な供給を可能にする大規模な工業施設の整備に伴って大きく発展した。原油の精製からプラスチックや合成繊維の原料生産までを一貫して行う、臨海部などに形成された一連の工場群を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 石油精製コンビナート 2. 化学工業コンビナート 3. 石油化学コンビナート 4. 臨海工業コンビナート

問8 2010年代において、急速な経済成長に伴う電力需要の急増に対応するため、火力、水力、原子力、および再生可能エネルギーのすべての発電方式において、発電量を大幅に増加させた国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 朝鮮 2. 韓国 3. 中国 4. 日本

問9 アメリカ合衆国の主要都市圏における職業構成を比較したとき、世界的な金融・ビジネスの中心地として管理的・専門的職業の割合が極めて高い都市圏と、かつて製造業が盛んで生産・輸送職の割合が比較的高い都市圏がある。後者の特徴を持つ、五大湖沿岸に位置する代表的な都市圏の中心都市はどこか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ラスベガス 2. アトランタ 3. デトロイト 4. メンフィス